



長島クリニック医師
原 善根 (30)

長島の印象は？

私自身、福岡生まれ、宮崎育ちであったため長島クリニックに着任するまで長島のことを全く知りませんでした。

実際に来てみると、非常にのどかな雰囲気、景色も良く、食べ物も美味しかったです。島の人も優しく、非常に住みやすい場所だと感じました。このような地域の医療に貢献していることを嬉しく思います。

着任の抱負

私は宮崎県で医療に従事していましたが、元々、地域医療に興味があり、1年6カ月間の出水郡医師会広域医療センターでの修行を経て、長島クリニックを引き継がせて頂きました。

私は地域医療において3つの信念があります。一つは患者さんとのコミュニケーションを大切にする「患者に寄り添う医療」、二つ目に患者さんが元気に暮らせる「地域の健康を守る医療」、三つ目に医療は日進月歩であり、私自身、常に勉強していく必要があります、「より質の高い医療」を掲げています。

これら3つの理念を大切にしながら末永く、長島町の医療に貢献していきたいと考えております。皆さま、どうかよろしくお願い致します。



鷹巣診療所医師
辺木 文平 (42)

長島の印象は？

黒之瀬戸大橋を渡って、足を踏み入れると、フラワーロードが整備されており、花と緑と海に囲まれた彩り豊かな自然の景観を楽しむことができました。花フェスタやジョギング大会、造形美術展におさかな祭りなど季節ごとにイベントが多く、人の往来が盛んで活発な町だという印象です。医療、介護、福祉の分野でも若い才力の強い活躍が目立ち、夢と活力がある町づくりがしっかり行われていると感じました。

着任の抱負

鹿児島大学大学院腫瘍学講座消化器・乳腺甲状腺外科学で癌診療を中心に外科医療に携わってきました。昨年は広域医療センターで外科手術、化学療法に加えて緩和ケア病棟を担当し、症状緩和、家族ケアを含めた終末期における全人的ケアを提供し続けてきました。

私が目指す医療とは患者が抱える健康問題はもとより、自然科学では解決しえない、生きていくという本質の部分に目を向けて、生きがい感や幸福感、満足感に重きを置いた医療活動であり、住民一人一人に寄り添って支援していく活動です。

これまで経験し、習得してきた知識、技術を生かして長島町の地域医療ならびに住民の健康増進に貢献できるよう鋭意努力して参りたいと思っています。

2人の医師を紹介します

鷹巣診療所は8月1日付けで辺木医師が着任し医師2人体制になり、長島クリニックは、田畑医師の後任として、同日付けで原医師が着任されました。

田畑医師に感謝状

長島クリニック退任

昭和63年に長島クリニックに着任し、本町の医療に貢献してきた田畑富士男医師が7月末で退任されました。

8月6日、長島クリニックで川添町長から田畑医師に、本町での長年に渡る地域医療への貢献と町民の健康増進に寄与されたことで感謝状が贈られました。

田畑医師の退任のあいさつを紹介します。

着任当初、血圧が良ければ安心する患者さんが多いことに驚きましたが、医療の側からすると悪性の病気が一番心配なので、定期的ながん検診をお勧めします。

千変万化の天草灘を眺めることが一番の幸せで、この恵みと島美人と純朴な仲間との一時は格別でした。皆さまのご健勝を願っております。



↑川添町長から感謝状を受ける田畑医師(写真右)